

7 歴 史

朱太川河口で発見された遺跡では、今から約3000年前（縄文後期）にすでにこの地に人が住み着いていたことを示しています。

寛文9年（1669年）、アイヌの首長シャクシャインが率いた戦いの記録によると、このころ、スツ、ヲタスツ、イソヤは商場所ができていて、交易も盛んだったと言われております。和人も多く住み、集落を形成し、これを本町の始まりとしています。

元禄元年（1688年）に神威岬から北への婦女子通行禁止令がしかれ、この地方に土着する者が増加、安政2年には、北方警備のため津軽藩出張陣屋が置かれ、藩士100人も駐在していました。

やがて明治維新になり、スツは開拓使函館支庁の管轄となり、明治12年には寿都郡役所が置かれ、町制施行（明治33年）によって、寿都町、樽岸村、歌棄村、磯谷村、政泊村となりました。

大正8年には寿都～黒松内間に寿都鉄道が開通し、経済活動の一翼を担いました。

昭和8年、政泊村と寿都町が合併し、その後30年1月15日寿都町と、樽岸村、歌棄村、磯谷村の1町3村が合併し、新しい「寿都町」となり現在に至っています。

■沿革

年号	年	西暦	で き ご と
寛文	9	1699	シャクシャインの乱が起き、この地方も戦場となる。
元禄	元	1688	神威岬から北への婦女子通行禁止令により、寿都地方に土着する者が増える。
嘉永	3	1850	伊藤伊三右衛門、鯉建網を考案。
安政	2	1855	寿都に津軽藩出張陣屋が置かれる。
	6	1859	歌棄竜昌寺建立。（町内最古の寺院）
明治	2	1869	「えぞ」を北海道に改め、「スツ」が寿都となる。
	4	1871	寿都に函館官立病院寿都出張病院できる。【旧道立病院（現寿都診療所）の前身】
	5	1872	寿都、歌棄、磯谷郡に戸長を置く。函館支庁の管轄となる。
	7	1874	歌棄、磯谷で郵便取扱所開設。
	10	1877	函館警察署巡査出張所を中歌村に創設。
	11	1878	中歌小学校（現寿都小）創立、本町最初の公立小学校。
	12	1879	歌棄、磯谷小学校設立。寿都郡役所設置。寿都地区裁判所を設置。
	14	1881	溪川小学校（旧樽岸小）創立。
	15	1882	美谷、横澗小学校、分校として発足。美谷小19年、横澗小17年に独立。 寿都警察署分署、警察署に昇格。
	16	1883	湯別、政泊小学校創立。
	17	1884	寿都観測所、郡区役所に設ける。
	22	1889	弁慶岬に寿都灯台ができる。
	24	1891	津軽藩陣屋跡が学校運動場として使用可能。
	29	1896	寿都税務署を設ける。
	30	1897	寿都支庁を置き、寿都、島牧、歌棄、磯谷の4郡を管轄。
	31	1898	寿都銀行を設立。各地に支店を置く。
	33	1900	町村制施行により7月1日1級町村寿都町となる。
昭和	35	1902	私立寿都実業女学校創立。美谷郵便局開局。寿都広尾鉱山創業。
	43	1910	寿都支庁廃止。後志支庁の管轄となる。
	44	1911	能津登隧道開通。

年号	年	西暦	で き ご と
大正	2	1913	幌別水力電気会社創立。4年から各家庭へ点燈開始。
	3	1914	寿都町火災272戸を焼失。
	8	1919	寿都鉄道開通。(10月)
	12	1923	樽岸村2級町村制をしく。
	13	1924	寿都町火災131戸焼失。
	15	1926	寿都漁港第1期工事始まる。
昭和	8	1933	政泊村、寿都町に合併。
	15	1940	湯別郵便局開局。
	20	1945	東海丸、寿都湾で撃沈される。
	22	1947	寿都地区検察庁、裁判検事局から独立設置。
	24	1949	寿都電報電話局、郵便局から独立。
	25	1950	樽岸遺跡、道文化財の指定を受ける。
	30	1955	寿都町、樽岸村(中の川除く)、歌棄村、磯谷村が合併し新しい「寿都町」が誕生。 (後、北尻別地区蘭越町に編入)
	31	1956	寿都町立高等学校が道立移管となる。
	33	1958	有線放送が始まる。北光鉱業(株)、砂鉄採取を開始。
	37	1961	寿都町公民館ができる。三菱寿都鉱山閉山。
	39	1964	中央バス、寿都～小樽間を運行。
	40	1965	寿都漁協、歌棄漁協と合併。磯谷地区水道事業完成。寿都税務署廃庁。
	42	1967	学校給食始まる。
	43	1968	樽岸、歌棄地区水道事業完成。寿都漁協、磯谷漁協と合併。寿都鉄道運休。 中央バス、寿都～黒松内間運行。カクジュウ佐藤家、道有形文化財に指定。
	44	1969	湯別地区水道工事完了。
	47	1972	寿都鉄道(株)廃業。
	48	1973	開基300年記念祝賀行事。新庁舎、ファミリー体育館落成。
	49	1974	南後志衛生施設組合清掃センター完成。岩内・寿都地方消防組合設立、寿都 支署を置く。
	50	1975	第1回弁慶まつり開催。
	51	1976	寿都保育園開園。
	52	1977	地籍調査事業始まる。
	53	1978	寿都高校改築。第2保育園開園。
	54	1979	寿都統合中学校完成。道立寿都病院改築。葬斎場完成。
	55	1980	全国優良町として表彰を受ける。漁民研修センター新築。湯別、樽岸小学校改築。
	56	1981	寿都漁港第6次整備完成。学校給食センター移転改築。
	57	1982	横潤小学校開校100周年。朱太川遺跡発掘調査始まる。
	58	1983	湯別小学校開校100周年。寿都町さけ・ます増殖施設完成。
	59	1984	統計情報事務所寿都主張所閉庁。寿都観測所100周年。農林漁家高齢者センター 完成。特別養護老人ホーム「寿都寿海荘」完成。
	62	1987	弁慶銅像及び弁慶岬休憩所完成。

年号	年	西暦	で き ご と
平成	元	1989	寿都風力発電所落成。
	2	1990	弁慶岬水洗トイレ完成。寿都地方合同庁舎(測候所、法務局、検察庁)完成。簡易水道浄水場完成。
	3	1991	潮路小学校開校。湯別地区に温泉湧出。
	4	1992	寿都町マスコットキャラクター「風太」誕生。
	5	1993	後志南部地区ヒラメ中間育成センター完成。寿都町民プール完成。 北海道南西沖地震発生。
	6	1994	磯谷診療所新築。南後志清掃センター可燃物処理施設完成。
	7	1995	寿都町総合文化センター「ウィズコム」完成。寿都温泉「ゆべつのゆ」完成。南後志清掃センター粗大ごみ処理施設完成。
	8	1996	移動通信用鉄塔施設完成。(携帯電話普及)。デイサービスセンター、在宅介護支援センター開設。
	9	1997	農村活性化センターオープン。寿都町公共下水道事業開始。寿都町イメージソング「風のロマン・弁慶岬」発売。
	10	1998	風太公園、多目的広場オープン。埋立処分施設工事着工。船頭さんの店海鮮市場オープン。
	11	1999	寿都温泉ゆべつのゆ、入館者50万人突破。寿都町防災行政無線整備完了。風太公園、風車完成。
	12	2000	寿都町町制施行100周年記念行事開催。
	14	2002	寿都温泉ゆべつのゆ、入館者100万人突破。
	15	2003	寿の都風力発電所完成。(風車3基)
	17	2005	町立寿都診療所開設。(道立病院から移管)
	19	2007	風太風力発電所完成。(風車5基)
	20	2008	道の駅「みなとま〜れ寿都」オープン。
	20	2008	町立寿都診療所改築。
	22	2010	こどもふれあいセンターオープン。食育センターオープン。 寿都温泉ゆべつのゆ、入館者200万人突破。
	23	2011	風太風力発電所増設。(風車2基)
	24	2012	地域密着型センター「ふれあ〜寿」オープン。
	27	2015	総合体育館完成。
	28	2016	旧歌棄佐藤家漁場、国の史跡指定。浜直市場完成。子育て支援センター開設。
	29	2017	寿都町防災行政無線デジタル化整備完了。橋本家(旧鯨御殿)を改修。 「そば処鯨御殿」オープン。ニセコ町曽我地区に「寿都アンテナショップ神楽」オープン。
	30	2018	パン専門店「ベーカリー寿〜KOTOBUKI〜」オープン。歌棄町有戸地区防災タワー完成。

年号	年	西暦	できごと
令和	元	2019	寿都町公設民営塾開講。ゲストハウス「風秤」開設。寿都町漁業協同組合新社屋完成。 農業振興ハウス整備。渡島団地(高齢者住宅)整備。矢追新通り線新設工事。
	2	2020	ニセコ町曽我地区に「アンテナショップ寿都魚一心」リニューアルオープン。 鯿御殿「昌の屋」寿都店リニューアルオープン。樽岸避難施設整備。 子育て支援住宅整備。渡島町移住・定住促進住宅整備。
	3	2021	「バジル焼酎壽」誕生。葬斎場完成。寿都温泉ゆべつのゆ、入館者300万人突破。 新栄町移住・定住促進住宅整備。定住促進住宅整備。
	4	2022	病児保育施設「なないろ」寿都診療所に併設。岩内・寿都地方消防消防組合消防署 寿都支署移転。光回線全町敷設(民設民営方式 NTT東日本)。総合文化センター 図書室図書システム導入。
	5	2023	寿都第5・第6風力発電所完成。
	6	2024	特別養護老人ホーム「寿都寿海荘」開進町へ移転。
	7	2025	寿都町総合文化センター大規模改修実施。